

一過性脳虚血発作はABCD2スコア / 心疾患 / 頸動脈狭窄 / DWI評価が重要です

特徴

診断フロー

概要

脳虚血による局所神経症状が一過性に出現しその後消失する

病型

心原性、アテローム性、ラクナがそれぞれ約30%ずつ

症状

構音障害、麻痺、失語、一過性黒内障、同名半盲、感覚障害
* めまいや意識消失は非典型的だが
椎骨脳底動脈系の症状としてありうる

以下の一つでも該当する場合はTIAが疑われるため、入院。この他の場合は外来へ

- ①発症48時間以内
- ②発症48時間～7日でABCD2スコア4点のTIAを繰り返す
- ③DWI病変
- ④頸動脈や頭蓋内主幹動脈の狭窄
- ⑤心房細動

ABCD2スコア	
年齢	≥60歳:1点
血圧	収縮期≥140mmHg or 拡張期≥90mmHg:1点
臨床症状	片側運動麻痺:2点 麻痺を伴わない言語障害:1点
持続時間	≥60分:2点、10～59分:1点
糖尿病	あり:1点

治療

- 非心原性
 - ✓ TIA発症48時間以内の場合はアスピリン160mg-300mg/日
 - ✓ ABCD2スコア4点以上の高リスク例にはアスピリンとクロピドグレルの投与が虚血性脳卒中を減らす。しかし出血性脳卒中を増やす可能性がある
- 心原性: Direct Oral Anti Coagulantsやワルファリンを考慮
 - * 血圧管理にエビデンスはないが動脈狭窄があれば降圧は注意する
 - * 脂質異常症や頭蓋内外動脈狭窄があればスタチンで治療開始してもよい
 - * 頸動脈や頭蓋内動脈高度狭窄があれば脳神経外科にコンサルトする
 - * 心内血栓があれば心臓血管外科にコンサルトする